

市美展の入賞者が決定

先月4日から17日にかけて、三原市美術展覧会を開催しました。

絵画、デザイン、写真など6部門に105点の応募があり、入賞作品30点が決まり、先月6日に入賞者の表彰式を行いました。

入賞者は、次のとおりです。(敬称略)市長賞

- 絵画 頼桂三(宗郷二丁目)、宮崎テル子(沼田西町)
- 工芸 村上陽子(須波ハイツ二丁目)
- 書 三次敬子(幸崎能地六丁目)
- 写真 金丸益公(小坂町)、井原昭彦(宗郷二丁目)



▲個性豊かな作品が並んだ展覧会場

市議会議員賞

絵画 板垣武志(港町三丁目)

教育委員会賞

絵画 松原順一(糸崎四丁目)

文化協会会長賞

書 川中佐代子(幸崎能地一丁目)

商工会議所会長賞

写真 吉岡康則(新倉一丁目)

奨励賞

- 絵画 澤田礼子(沼田東町)、佐々木照(和田三丁目)、村尾正顕(高坂町)、坂本勝彦(新倉一丁目)、澤田健二(幸崎能地四丁目)、塩浜博美(円一町五丁目)、高東恵子(本郷町)
- 彫刻 網干静夫(旭町一丁目)、井上祐一(中之町二丁目)
- 工芸 松田俊治(本郷町)
- 書 六井亜希子(幸崎能地一丁目)、奥美映子(本町一丁目)、小白和子(田野浦三丁目)、布下暁美(幸崎能地七丁目)

中山間地域の活性化へ

市内には、過疎化や少子高齢化の進行などにより、集落機能の低下が進み、

地域の活力が失われる恐れのある中山間地域があります。こうした地域の活性化を図るため、地域住民や一般公募の市民などが一緒にあって、将来を見据えた地域のあり方などを検討しています。

9月23日に行なった第1回ワークショップには、約50人が参加。始めに、広島県立大学(現：県立広島大学)名誉教授の野原建一さんから、市民の自主的・主体的な取り組みが求められていることや、人と人とのつながりの大切さなどについて講演がありました。

その後、効果的な情報発信の方法や次世代に向けた人材育成などについて意見交換が行われました。

今後は、具体的なテーマに沿ってワークショップを4回開催し、中山間地域の活性化基本方針を定めます。

ふるさと大使、三原に来訪

本市のふるさと大使で絵本作家の永井郁子さんが、先月8日、三原ふるさと子ども博士講座の講師を務めました。

講座では、三原に伝わる昔話を題材に、子どもたちが場面ごとの絵を描き、班ごとに絵本を完成させました。絵に対して苦手意識を持っていた子どもから、「描くのが楽しかった」と感想を受けた永井さんは、「絵でも、どんなことでも楽しいから好きへ、好きへ」



▲完成した絵本を発表する子どもたち(右端が永井さん)

から夢へ変えて欲しいです。夢を叶えるのに、好きという気持ち強い味方になってくれます」と子どもたちに語り掛けました。

ふるさと大使は、本市のイメージアップや産業・文化の振興を図ることを目的に、市にゆかりのある13人に委嘱されています。本市への来訪としては、今年8月、市民講座で、テレビ大阪代表取締役社長 立岩文夫さんが講演を行いました。また、今月12日には、中小企業優良従業員表彰式&記念講演会で、浪曲師イエス玉川さんが、来月9日の人権週間記念講演会では、講師 日向ひまわりさんがそれぞれ講演を予定しています。